

「オンラインで飲む」ということ

「ぼぉ〜っと生きてる」うち、この8月に古稀を迎えました。年齢では立派にOB会会員の資格十分ですが、意地はって、名ばかりの現役会員をキープしています。

年初来のコロナ禍、世の中は吃驚するほど急変しました。中でも「不要不急の外出は慎みましょう」が、私の個人生活にはインパクトとなりました。

私の心身を健全に保ってくれるはずのボランティア活動・テニスプレイ・山歩きなどはほぼアウトドアです。気持ちは「控えめに」・・・ですが、その実は、他人様に迷惑与えない自分勝手な配慮をしつつ不要不急の外出を重ねながら、左程のダメージもなく毎日を過ごしています。

とはいえ本当に困ったのは、気の置けない仲間とのワイワイガヤガヤ飲み会ができないこと。まさに「三密の極」にあることですから、流石に「社会の掟破り」は憚られました。

でも、ふつつつと湧き出る「こんなときだからこそ飲み会で発散したい」という欲求は抑えきれず、5月からいわゆる「オンライン飲み会」を自ら何度か主宰して、それなりに溜飲を下げています。

その中で、8月初めに、私の出身会社(三菱電機)で設計管理・設計生産性改善を推進してきた懇意の先輩方と4人で行った、オンライン飲み会についてご紹介したいと思います。

メンバー4人の平均年齢は78歳。最高齢は95歳そして一番若手の私は69歳。コロナリスクの最も高い年齢層ですから、互いの安否確認も含めた飲み会となると、オンラインが必然となりました。

私以外のメンバーのITスキルは、パソコン・スマホでメール・インターネット検索がこなせる程度。しかも先輩方のパソコンはWEBカメラ等ついていません。そんな中、どんな方法・環境でオンライン飲み会を立ち上げるかが、最初の課題となりました。

主宰幹事としての私の当初の目論見は、テレワークの定番となっていて何度か私のオンライン飲み会でも利用した「ZOOM」(グループTV会議システム)を使い、サクサク行って大いに飲み・語らうということでした。

「ZOOM」は、今やオンライン例会が普通となった関西設計管理研究会の標準環境となっているようです。

しかし、残念ながら8月時点でZOOMの無料利用時間が40分に戻っていたこともあり、たまたま全メンバーが利用していたスマホの無料通話アプリである「LINE」を使うことにしました。

ただスマホの小さな画面での多人数表示は、視力が落ちてきたメンバーには辛いだろうということで、ワイド画面のパソコン上でLINEを利用する方法を試みました。

まず、メンバーには簡単接続できる外付けWEBカメラを3000円程度で購入いただき、カメラテストを終えてから、パソコンにパソコン版LINEをインストールしてLINEに接続してもらいます。そのために手頃なカメラの情報やパソコン版LINEのインストール方法を伝え、準備をお願いしました。

兵庫県と和歌山県に散らばっているメンバーですので基本的にはメールと電話で連絡取りあってそれぞれの環境立ち上げを行いましたが一筋縄では参りません。とりわけITオンチを自認されているメンバーのうち、最高齢者には25歳ピチピチの孫娘さんにサポート参加いただき、和歌山県内近場の先輩には、カメラを買って自宅に三回お邪魔し、テスト確認まで現地支援しました。

そして、二回程度のLINEでのグループビデオ通話試験を繰り返し、8月初旬の本番にこぎつけた次第です。実は本番当日は、老人性難聴のある最高齢メンバーの機器の音量コントロールが不調で、後日万全を期してリトライし、ようやく所期の「オンライン飲み会」を大先輩方と堪能できました。

この「オンライン飲み会」そのものは合計3時間半程度です。しかし、その準備・助走に2週間以上費やしてしまいました。そうなんです。実はオンライン飲み会の本番以上に、そこに至るまでのプロセスにも意義があったのです。

日頃疎遠で互いに健康状態を気遣っていたメンバー同士が、「飲み会」という目的に向かって、昔一緒に仕事していたように協同作業できた、この「一体感」が何物にも代えがたい成果物だったように思います。そしてこのイベントを通してメンバーの刺激・活性化につながったのなら「オンラインで飲む」ということも、そんなに悪くはなかったのではないかと自負しています。

今回、容易に利用できるパソコン画面でのビデオコミュニケーション環境ができたことで遠くに住む子供や孫と快適に「つながる」と喜んでくれる先輩もいました。ありがたいことです。

コロナ禍で周辺環境が激変した中でも、いつもと変わらない日々を永く続けたいと誰しも思っています。

私も私なりに、明日のために今日一日、日頃のルーチンを精一杯こなすことに努めています。

とはいえ、環境変化をひとつのトリガとして逆手に取り、今までにない新たな取り組みにチャレンジし、自身の生活に清新な風を送り込めれば、「してやったり」ではないでしょうか。

「オンライン飲み会」もそのひとつ。
そしてまた、「脳ミソ」を筋肉として鍛える次の関心に挑戦していきたいものです。